

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	379	団体の育成・活動支援事業等	会計	01	一般会計
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	款	03	民生費
			項	03	同和行政費
			目	01	同和行政総務費
担当部課名	人権政策部 同和課		細目	101	同和行政経費
作成者氏名	前川 清	連絡先	細々目	01	同和行政事務経費
		22-9633			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
地域住民によるまちづくり団体 部落差別をなくす団体		住民のまちづくりに対する主体性が高まりまちづくりを進める 部落解放を目指す団体の育成が図られ、差別がなくなる
本年度事業内容	国民的課題としての部落解放を目指す団体の育成 改良住宅等改善事業を計画する地域住民により組織された「まちづくり協議会」の活動育成等 市所有地及び施設設備の維持管理	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
根拠法令・要綱等	改良住宅等改善事業制度要綱	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	1.5	1.5	1.5
	人件費合計(A)	10,800	10,800	10,800
②支出内訳(千円)	事業費(B)	14,116	15,811	13,435
	委託料	3,544	3,604	3,604
	負担金補助金	9,468	8,915	8,530
	その他	1,104	3,292	1,301
	合計(A+B)	24,916	26,611	24,235
③財源内訳(千円)	特定財源	1,500	1,500	1,500
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	23,416	25,111	22,735
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値	目標値	
		H17	H18	H19
まちづくり協議会との協議	回	8	10	12
部落解放同盟との協議	回	10	14	18

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H15	H18(目標)	H23(目標)
だれもが暮らしやすいまちづくりの改善、充実を望む意見/調査世帯の当該地区世帯数)H15旧上野市の実態調査から	H15旧上野市で生活実態調査実施当該地区世帯を分母とし、だれもが暮らしやすいまちづくりの改善、充実を望む意見を分子とする改善・充実要求を指標としました	%	40.8 目標 ()	45	48
被差別体験の有無の指標 (被差別体験を受けた・出合ったことがある/調査世帯)H15旧上野市で生活実態調査から	H15旧上野市で生活実態調査実施世帯を分母とし/被差別体験を受けた・出合ったことがあるを分子とする差別を受けた指標としました	%	43 目標 ()	—	40

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

同和施策をより効果的に推進していく上で地域の実態と当事者のニーズを的確に把握することが重要である。今後は、従来にも増して団体等と連携し、事業の効率化と円滑化を図ることで実態的差の解消に努めていく必要がある。

評価	必要性	4	同和問題の解決等における特定の団体や市民を対象にした事業であるが、団体等の事業の取組みにより、対象者以外の第三者にも同和問題等の人権意識の向上が予想され、今後必要な施策として推進していく。	総合評価	
	有効性	4		A	
	達成度	4			
	効率性	3			